

(別記様式)

平成29年度 京都府立盲学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>京都府立盲学校創立150周年に向けて、時代のニーズに応じた学校づくりを当面5カ年計画で目指す。（2年目）</p> <ul style="list-style-type: none">・インクルーシブ教育システムの構築に向けた教育改革・幼稚部から高等部専攻科までの専門的な教育環境整備・共生社会を目指した地域・関係諸機関との連携再構築・150周年記念資料集編纂	<p>（成果）</p> <ul style="list-style-type: none">・それぞれの重点目標について、具体的方策を概ね進め、次年度の方向性を確認することができた。・運営会議を定例化したことで、学部横断的な課題について、担当者を含めた議論が継続して行えるようになった。・本校資料の環境整備に着手した。 <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none">・「幼小・中・高等部」への組織改変から3年が経過するのを機に、学校運営・教育活動に与える影響や変化について総括を行う。・視覚障害教育の専門性の向上に継続して取り組む。・新学習指導要領に関する理解を深めるとともに、各学部で新教育課程の検討を始める。・関係諸機関との連携再構築の取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none">（1）視覚障害教育の専門性と指導力の向上<ul style="list-style-type: none">・全職員による、公開授業と実践事例の作成（2）職業自立を目指し、キャリア教育の視点に立った進路指導の充実<ul style="list-style-type: none">・職業教育に関する検討の継続・高等部普通科京都70シティアコースと重複児童生徒の教育内容の充実（3）現行教育課程の見直し<ul style="list-style-type: none">・【高等部普通科】京都70シティアコースの完成年度（3年目）における教育課程の再検討・【理療科】学校認定規則改定に対応する教育課程の変更（4）「幼小・中・高等部」への組織改変に伴う総括の実施（5）ホームページ等情報発信と情報セキュリティの強化<ul style="list-style-type: none">・ホームページの適宜更新（6）関係機関との密接な連携と保護者や学校等への支援推進<ul style="list-style-type: none">・医療・福祉機関等とのネットワーク作り・京都府北部における視覚支援センターの相談機能強化（7）本校資料（室）の活用に向けた整備とそれに伴う課題の検討

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
教育活動 全般	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害教育の専門性、指導力・支援力の向上 ・教育課程の見直し、指導内容、指導方法等の改善・充実 	【幼小】 授業力の向上を目指したグループごとの授業研究の実施	B	【幼小】 毎学期授業研究を実施した。全員が指導案を作成し実践事例報告会を実施した。教材・教具の交流を行った。 【中】 「各教科等を合わせた指導」の授業研究をとおして、授業改善から教育課程の見直しにつなげることができた。 【高】 各学科の教育課程の見直しを行った。普通科では、京都フロンティアコースにおいて英語教育の充実を図ると共に、文系中心の教育課程に見直し、コースの目指すべき方向性を明確にした。また、理療科では、学校認定規則改定にともなう見直しを行い、特に基礎分野ではコミュニケーションの充実と英語教育の導入を、専門分野では、臨床実習指導の充実を目的とした教育課程を編成した。 普通科京都フロンティアコースでは、初年度卒業生の希望する大学への進学を実現することができた。また、1組コース、2組コースとも、新たな見学や実習等、進路に向けての取組を充実させた。
		【中】 「各教科等を合わせた指導」に関する指導内容の充実を図るための授業研究の実施	B	
		【高】 各学科の教育課程の見直しと指導の充実（特に学校認定規則改定に伴う理療科教育課程の再編成） 普通科京都フロンティアコースの進路実現に向けた指導内容の充実	B	
	<ul style="list-style-type: none"> ・関係諸機関との連携及び相談機能（特に幼児相談）の強化 	【視覚支援センター】 京都府北部の教育・医療・福祉機関等の訪問と支援ニーズの把握 学部との連携強化による教育相談の充実	A	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・組織運営の充実 ・学部間の共通理解、連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議等の在り方の検討・整理（担当内容や会議の持ち方等） ・学部横断的な課題を検討する会議の定例化及びその内容の充実 	B	学部横断的な課題（教育課程、自立活動、情報発信等）について、学校全体としての視点、学部の縦のつながりを意識して各種会議を運営することができた。

研究研修	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テーマ「社会生活を見据えた指導～主体性を引き出すきっかけづくり」に即した校内の研究・研修内容の充実 ・専門的かつ実践的な知識と技能の共有化 ・授業力・実践力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内各組織との連携による基本研修や専門研修等の充実 ・年2回の視覚障害教育研究会の実施 ・全校授業公開・研究授業、全教職員による実践事例の作成及びその活用方法の検討 	B <ul style="list-style-type: none"> ・共通テーマの下、視覚障害教育研究会を8月と1月の年2回実施し、外部講師による講演のほか、歩行や触察、身体運動など、本校の専門性の向上に向けた内容で研究討議を行った。また、障害の捉え方、眼球の構造と機能などをテーマとした基本研修に加え、専門研修（点字週1回、歩行年20回）を実施し、専門性の向上に努めた。 ・全校授業公開月間を設置し、授業見学を通して教職員間の相互理解の推進に努めた。また、全教職員が実践事例を作成し指導力・実践力の向上を図った。
生徒指導・安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学部間の連携強化と幼児児童生徒の状況の共有化 ・問題事象等に対して組織的かつ計画的に対応できる体制の構築 ・児童生徒の安全・防犯に関する意識の向上 ・校内および登下校時の安全確保 ・児童生徒の安全・防犯に関する意識の向上 ・校内および登下校時の安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒指導部会の定例化と学部を越えた教職員の組織的な連携体制の構築 ・「いじめ防止基本方針」に基づいた幼児児童生徒の発達段階を踏まえたきめ細やかな指導の展開 <ul style="list-style-type: none"> *家庭・地域社会・関係諸機関との連携 *未然防止を第一に、早期発見、早期解消へ至る一連の対応の徹底 ・安定した学校生活を送るために必要なルールやマナーの徹底 ・各校地の特性を踏まえた避難訓練や教職員向けの不審者対応研修の実施 	B <ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒指導部会を学期に1～2回開催し、学部間の連携が図れた。 ・いじめの未然防止、早期発見につながるよう、生徒が安心して相談できる環境作りに努めた。 ・学校生活におけるルールやマナーの徹底を図るため、年度初めに幼小、中学部で合同集会を実施した。 ・各校地ごとに2回の避難訓練を実施、2回目は煙ハウスを体験し、煙の怖さや避難の仕方を知る機会となった。
広報発信・情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信 ・情報機器等のセキュリティ強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの適宜更新と適切な管理 ・情報機器等の整備と情報セキュリティの強化 	B <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの適宜更新に努めたが、今後さらに充実させる必要がある。 ・校内のセキュリティ強化及び職員のセキュリティへの意識向上に努めた。

学校関係者 評価委員会 による評価	<ul style="list-style-type: none">○ 盲学校と関係諸機関との連携への期待<ul style="list-style-type: none">・視覚障害ネットワークの構築（京都ロービジョンネットワーク「さくら」）と各種情報の共有・提供・交通や防災等に関する取組における連携○ 卒業後を見据えた教育内容、指導方法への期待<ul style="list-style-type: none">・社会より要請される教育内容の検討と職業教育への反映（理療科・保健理療科）○ 京都府北部地域への支援の充実
-------------------------	---

次年度に 向けた改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none">○ 視覚障害ネットワークの構築、交通・防災等の取組を通じた連携を強化する。○ 社会情勢に合わせ、職業教育における教育内容の検討を進める。○ 盲学校からの情報発信（地域支援、教育活動、資料室等）に努める。
-----------------------	---